

地域公開シンポジウム

人口減少時代の 地域再生

参加費
無料
申込み不要

2018年 **12**月 **8**日(土)

13:00 ▶▶▶ 16:30

島根大学 大学ホール (島根県松江市西川津町 1060)

高度経済成長期の日本で「過疎」が社会問題となってから半世紀が経った。日本の人口は2008年にピークに達し、依然として社会増が続いている首都圏を除けば、全国的に自然減と社会減による人口減少が常態化する時代となった。また海外でも、隣国の韓国では首都圏への一極集中が著しく、出生率の低さや若年層の雇用問題の深刻さなど、日本の現状と重なるところが大きい。

日本の過疎問題は島根県旧匹見町(現益田市)から始まったとされる。島根県では1963年のいわゆる38豪雪を機に挙家離村が相次ぎ、現在では「限界集落」化している地域も少なくない。山陰地域では、このような全国に先駆けて始まった「人口減少」という困難な状況の中で、危機意識を持った地域から先進的で創造的な取り組みが始まり、各地で確かに実を結んできた。本シンポジウムでは、人口減少時代における地域社会の維持・再生に向けて、住民、コミュニティ、行政、研究者のそれぞれの立場から、山陰地域や韓国の取り組みを紹介し、地域再生の可能性を展望したい。

● パネル報告

心ひとつに！みんなでしゃべる島づくり

大江 和彦 (海士町 町長)

地域密着型第3セクター (株)吉田ふるさと村の歩み

高岡 裕司 (吉田ふるさと村 代表取締役社長)

「関係人口」と地域再生

田中 輝美 (ローカルジャーナリスト)

韓国農村再生のためのローカル・ガバナンスシステムづくり

具 滋仁 (韓国忠南研究院 研究委員・忠南ムラづくり支援センター長)

コーディネーター：

多田 憲一郎 (鳥取大学地域学部 教授)

出雲高校の生徒によるポスター発表

協力：

出雲高校スーパー・グローバル・ハイスクール事業

【問い合わせ先】

島根大学法文学部山陰研究センター

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

電話：0852-32-9833

メール：admin-src@soc.shimane-u.ac.jp

主催：島根大学法文学部山陰研究センター、日本地域経済学会

共催：島根大学

後援：島根県、松江市、出雲市、雲南市、海士町、島根県教育委員会、島根県中小企業家同友会、しまね地域自治研究所、NHK松江放送局、山陰ケーブルビジョン、山陰中央新報社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞松江支局、日本経済新聞松江支局

人口減少時代の 地域再生

●パネリスト紹介



おおえ かずひこ
大江 和彦

1985年4月海士町役場入庁。産業課・企画開発課・建設課を経て、2004年に地産地商課長に。前山内町長と共に「自立・挑戦・交流」をスローガンに、Uターン者の起業促進等、主に産業分野で地域振興を実践。2018年3月に退職し、5月31日に海士町長就任。



たかおか ゆうじ
高岡 裕司

1957年吉田村(雲南市吉田町)生まれ。
 (株)吉田ふるさと村代表取締役社長。全国で初の卵かけごはん専用醤油「おたまはん」の発売や地域イベント「第1回日本たまごかけごはんシンポジウム」を実施、全国に卵かけごはんブームのきっかけをつくった。現在は、観光振興による定住促進、地域振興に挑戦中。主な授賞・表彰に「中国地域ニュービジネス特別賞受賞」(2005年)、日本醤油協会「醤油地域貢献賞」(2012年)など。



たなか てるみ
田中 輝美

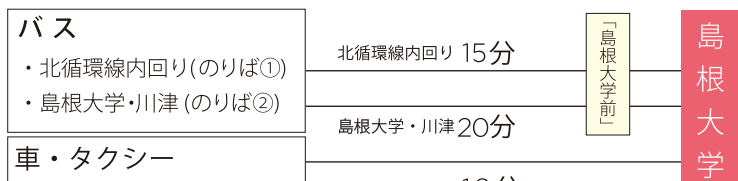
山陰中央新報記者を経て独立。島根に暮らし島根のニュースを記録、発信している。著書に『関係人口をつくる』(木楽舎)『ローカル鉄道という希望—新しい地域再生、はじまる』(河出書房新社)『地域ではたらく「風の人」という新しい選択』(ハーベスト出版)など。



グ 眞 ジェイン
眞 滋仁

1965年大韓民国生まれ。
 忠清南道のムラづくり支援センター長、忠南研究院研究委員。専門は内発的地域開発論。2002年『日本における農山村社会の歴史の変遷と持続可能性に関する研究』で鳥取大学大学院連合大学院で農学博士学位を取得。地域住民の活動と行政を繋ぐ役割を担う。著書に『集落が生き生きとして農村が蘇る』など。

<会場へのアクセス> JR 松江駅から



※バスはほかにも、「平成ニュータウン」「あじさい団地」(松江市営バス)、「美保関ターミナル」「マリンゲートしまね」(一畑バス)があります。いずれも松江駅バスターミナル乗り場②です。
 ※お車でお越しの際は正面入り口前の守衛室で入構証を受け取り、指示に従って構内に駐車してください。会場付近の住民の皆様のご迷惑になりますので、路上駐車及び近隣店舗への無断駐車は固くお断り致します。

